

# 豊根村分科会

10/12(金)

とよね文化広場 村民ホール

## パネルディスカッション

田舎で暮らそう！～地域を守り、育てる力～



「田舎で暮らそう！ ～地域を守り、育てる力～」

コー  
ディ  
ネー  
ター

豊根村地域づくり推進室長

青山 幸一

あおやま こういち

愛知県生まれ。1985年から愛知県庁に勤務し、過疎対策担当として山村振興対策や外部人材の過疎地域への送り込みなどに取り組む。2001年に豊根村へトーン。豊根村役場に勤務し、「地域づくりインターン事業」や新規就業対策として「とよね木サイクルセンター」の設立に参画。現在は、地域づくり推進室長として、総合的なむらづくりの推進に従事。



パ  
ネ  
リ  
ス  
ト

生桑振興会会長

藤井 敏法

ふじい としのり

広島県生まれ。広島県立吉田高等学校卒業後、1969年法務省広島法務局入局。2009年退官後、美土里町にUターンし司法書士・行政書士事務所を開設。2010年住民自治組織「生桑振興会」の会長に就任。安心して暮らせる地域づくりをベースに、生桑サービス・ステーション「株式会社ふれあい市」の設立に尽力。深刻な過疎・少子高齢化、後継者不足などの問題を抱えながらも、積極的な振興会活動を展開し、活力ある地域づくりに日々奔走している。法務省人権擁護委員など多数を務める。



大阪市立大学大学院工学研究科講師

佐久間 康富

さくま やすとみ

埼玉県生まれ。京都市伏見区、千葉県浦安市育ち。早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程退学。博士(工学)。株式会社環境と造形、早稲田大学教育・総合科学学術院助手、大阪市立大学大学院工学研究科助教を経て2012年から現職。学生時代に北海道大樹町、愛知県豊根村での地域づくりインターンに参画。共著書に『若者と地域をつくるー地域づくりインターンに学ぶ学生と農山村の協働』(原書房)、『いま都市をつくる仕事ー未来を拓くもうひとつの関わり方』(学芸出版社)、『まちづくりオーラル・ヒストリー』(水曜社)ほか。



財団法人山の暮らし再生機構

杉崎 康太

すぎざき こうた

神奈川県生まれ。早稲田大学建築学科在籍中に、熊本県小国町での地域づくりインターン活動を通して、中山間地域の地域づくりに関心を持ち、同大学大学院に進学。地域計画、地域づくりについての研究・実践を進め、群馬県みなかみ町の湯原温泉街で空き店舗を活用したまちづくり拠点「みなかみ湯原まちづくり拠点ピノキオ」の世話人として半年間現地に滞在し、立ち上げから企画運営に携わる。2009年から新潟県長岡市栃尾地域(旧栃尾市)にて、地域復興支援員として2004年に発生した新潟県中越地震からの復興支援に従事。被災した地域の復興支援にとどまらず、震災をきっかけに顕在化された中山間地域の課題に向き合いながら活動を展開中。



NPO法人とみやま交流センター

森本 寿人

もりもと ひさと

奈良県生まれ。国内旅程管理者として添乗員を退職後、2005年にアウトドアサポートシステムズに自然ガイドのインストラクターとして勤務しながら、愛・地球博にて森の自然学校・里の自然学校、地球市民村ボランティアを務めた。その後、2011年に豊根村富山に住まいを定める。富山にて自然体験を行う「NPO法人とみやま交流センター」にて、着地型観光事業、集落支援員、地域活性化、山村留学事業に取り組み、活動は多岐に渡る。

